

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
 TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌加
 メディア委員会担当
 吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第65回東北吹奏楽コンクール〔8/27(土)青森市・リンクステーションホール青森〕

岩手県勢吹奏楽
 「全国出場」ならず

銀賞 専大北上

銀賞: 黒沢尻北
 銅賞: 盛岡白百合・盛岡三

第65回東北吹奏楽コンクール 審査結果 <高等学校の部>

順	県	団体名	賞	代表
1	福島	福島県立いわき湯本高等学校	銀	
2	青森	青森県立八戸北高等学校	銅	
3	宮城	宮城県仙台第三高等学校	辞退	
4	岩手	盛岡白百合学園高等学校	銅	
5	秋田	秋田県立秋田中央高等学校	金	
6	山形	山形県立山形北高等学校	銀	
7	福島	福島県立磐城高等学校	金	◎
8	山形	山形県立山形中央高等学校	金	
9	青森	青森県立弘前中央高等学校	銅	
10	秋田	ノースアジア大学明桜高等学校	金	
11	岩手	岩手県立盛岡第三高等学校	銅	
12	宮城	宮城県仙台向山高等学校	銀	
13	宮城	宮城県多賀城高等学校	銀	
14	青森	青森県立青森高等学校	銅	
15	秋田	秋田県立湯沢高等学校	辞退	
16	福島	帝京安積高等学校	銀	
17	山形	山形県立山形東高等学校	銀	
18	岩手	岩手県立黒沢尻北高等学校	銀	
19	山形	山形県立鶴岡南高等学校	銅	
20	青森	青森山田中学高等学校	金	
21	秋田	秋田県立秋田南高等学校	金	◎
22	岩手	専修大学北上高等学校	銀	
23	宮城	聖ウルスラ学院英智高等学校	金	◎
24	福島	福島県立会津高等学校	銀	



青森市文化会館(リンクステーションホール青森)

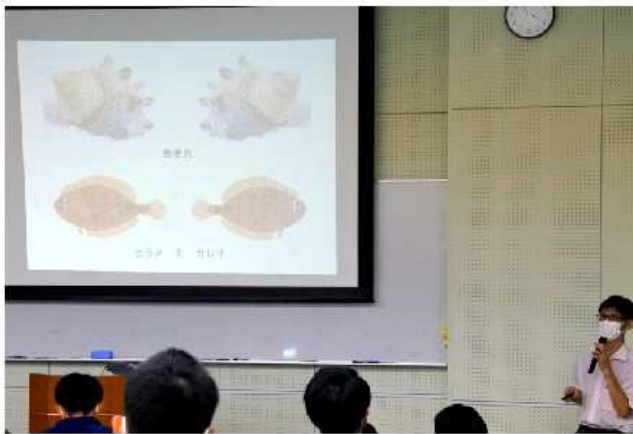
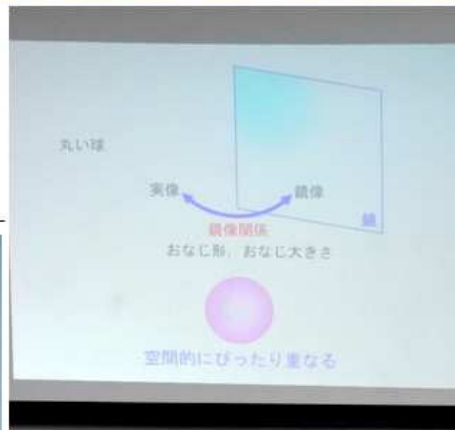


専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

高大接続研究事業特別講義「総合科目」8月24日(水) 石巻専修大学理工学部 生物科学科 鳴海史高准教授 「右手の分子と左手の分子」



令和4年度高大連携事業「総合科目」第7回目の授業は8月24日(水)本校クリエーションホールで「右手の分子と左手の分子」と題して石巻専修大学理工学部生物科学科の鳴海史高准教授から講義をいただきました。

「右手の分子と左手の分子」というテーマで、受講している生徒が文系の生徒が多いという点もあり、非常に分かり易く鏡像異性体についての説明して頂きました。ちなみに鏡像異性体とは、鏡の関係だと重なり合いますが、同じ向きだと重なり合うことができない物質同士の関係性である。

又、鏡像異性体同士は光の振動する向きが違ったり、別名光学異性体という

ことをお話していただきました。この事業を発見したフランスの生化学者レイ・パスツールがどのようにして発見したのかを説明して頂きました。

その中でも「偶然の発見は用意された心でのみ訪れる」という言葉です。「パスツールの発見はまさしく偶然の発見であった」ということです。

最後に鳴海史高准教授は「生徒の皆さんも、自分の考えを信じて、それを表現するために努力を惜しまない姿勢で様々な経験・体験を通して素晴らしい発見をしてほしい」と仰いました。

以下は、受講生徒の感想です。

似ていても全く違うものになることがわかりました。偶然の発見は用意された心のみ訪れると言った言葉を受けて努力をしようと思いましたが分かった▼鏡像異性体の面々がわかった。分子構成が同じでも味、匂い、薬品の効果が変わる▼アミノ酸がわかったこと。薬品は分子まで分解して効果を理解して使うことがわかりました▼化学的、物理的には同じように表される物質であっても、細かく分類すると全く違う味や匂いで、薬として機能が変化することを知れた。今まで知らなかったことが沢山知ることが出来た▼もっとアミノ酸はどれも繊細なもので、簡単に見分けたりするのは大変なだけで同じように違う少し違かった作りによって匂いや香り、味なども違って



ました▼あまり日常的に科学的について触れることがなかったのですが、この機会により深い学びを得ることができました。分子や原子はなにがどのように通っているのか知ることができたとわかった▼私は文系だけれど、理科のことを学べたし、見た目が同じでも少し違うだけで全く違うものになることがわかった。今までに聞いたことがない単語がたくさん出てきたので、もっと知りたいと思えるような内容だったのがよかった▼分子について詳しく学べた。水蒸気の大気量は0.15ナノメートルしかないことがわかった。大学の理工学部で何を学べるのかわかった▼私は文系なので、今回の授業の初めに身近な鏡像関係などを取り上げて説明してくださったおかげでとてもわかりやすく知識を身に付けることができた。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

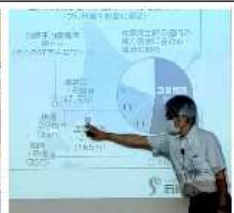
メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

8/22(月) 石巻専修大学訪問ツアーに1年生258名参加

敷地面積は42万平方メートル/東京ドーム10個分の敷地面積
キャンパス内には、多くの実験室、運動用施設、図書館等がゆったりと配置され
実践的な教育や地域貢献を円滑に進めるための付属施設が整備されていました



- ◆15時 大学出発
- ◆17時 高校着
- ◆8時30分出発(KIT'S 6台・幼稚園跡地3台)
- ◆10時30分大学北門着
- ◆4号館2教室に移動(3密回避のため250席に130名で受講)
- ◆10時48分 一日のスケジュール説明
- ◆10時50分~11時10分 「理系の学科」での授業・研究って、どんな感じ+大学って?
- ◆10時50分~11時10分 大学って・梅山光広教授 (機械工学科)
- ◆11時10分~12時 本田秀樹教授 (情報電子工学科)
- ▽辻天和准教授 (生物科学科)
- ◆12時20分~13時10分 昼休み/希望者施設見学
- ◆13時10分~14時40分 「文系の学科」での授業・研究って、どんな感じ+大学って?
- ▽大縄道子教授 (人間文化学科)
- ▽稲葉健太郎助教 (経営学科)
- ▽三橋勇太助教 (情報マネジメント学科)
- ▽徳江信一特任教授 (人間教育学科)



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

皇后杯 JFA 第35回全日本女子サッカー一選手権大会岩手県大会 **優勝** 専修大学北上高等学校女子サッカー部 6年連続8度目の優勝



岩手県大会決勝〔令和4年8月21日(日)〕 専修大学北上高等学校 7-1 FCゼブラ岩手レディース
東北大会は9月23日(金)から青森県で開催されます。応援よろしくお願ひします。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
 TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌加
 メディア委員会担当
 吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒



第60回県吹奏楽コンクール 金賞 専修大学北上高等学校吹奏楽部 東北大会出場

第60回岩手県吹奏楽コンクール 高校の部 審査結果

順	地区	団体名	賞	代表
1	盛岡	盛岡第三高等学校	金	○
2	盛岡	盛岡第二高等学校	銀	
3	盛岡	盛岡第四高等学校	銅	
4	中央	専修大学北上高等学校	金	○
5	中央	岩手県立花巻北高等学校	金	
6	中央	岩手県立黒沢尻北高等学校	金	○
7	県南	一関学院高等学校	金	
8	県南	水沢高等学校	銀	
9	県南	一関第一高等学校	銅	
10	沿岸	宮古高等学校	銀	
11	沿岸	釜石高等学校	銅	
12	沿岸	大船渡高等学校	銅	
13	県北	福岡高等学校	銀	
14	盛岡	盛岡北高等学校	銀	
15	盛岡	盛岡第一高等学校	銀	
16	盛岡	盛岡白百合学園高等学校	金	○
17	盛岡	盛岡市立高等学校	銀	

第60回県吹奏楽コンクール(県吹奏楽連盟主催)は8月6日(土)、盛岡市の県民会館で高校、大学の部門が行われました。高校の部は金賞のうち専修大学北上高等学校、盛岡第二高等学校、黒沢尻北高等学校、盛岡白百合学園高等学校の4校が東北大会(8月27日(土)青森県開催)に出場します。東北大会での専修大学北上高等学校吹奏楽部の活躍を期待しています。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒



とうきょう総文2022



**7月31日(日) 東京都千代田区丸の内仲通りで開催された
とうきょう総文2022パレード
専修大学北上高等学校吹奏楽部堂々行進披露**



丸の内仲通り



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒



卓球会場: 愛媛県



7月30日(土)
【男子団体】
△1回戦
専大北上 3-0 城 南
(岩手県) (徳島県)
単2-1-0
複1-1-0
○大場隆也 3-1 0 勝 江
11 11 11 11 5 5



男子シングルス
齋藤太一 選手ベスト32

兼平優斗 1-3 岡 崎○
11 11 6 11 11 8
佐藤遠太 1-3 古 閑○
6 11 6 11 11 11

令和4年度全国高等学校総合体育大会 卓球競技大会
第91回全国高等学校卓球選手権大会

○佐藤遠太 3-0 村 橋
11 11 11 11 11
▽2回戦
専大北上 2-1 3 東 山
(岩手県) (京都府)
○佐藤遠太 3-1 羽 鳥
11 11 7 8 11 11

※2回戦敗退

▽3回戦
照井涼太郎 3-1 0 浦 川
11 11 9 11 11 7
佐藤遠太 (佐賀・敬徳)
11 11 9 11 11 7

7月31日(日)
【男子ダブルス】
△1回戦
大場隆也 3-1 宇 波
鈴木李空 弘 海
(専大北上) (千葉県大付)
11 11 4 11 11 6

男子ダブルス
ベスト8ならず

▽4回戦
照井涼太郎 0-1 3 徳 田
佐藤遠太 木 方
(専大北上) (野田学園)
7 11 11 7 11 11

8月1日(月)
【男子シングルス】
△1回戦
兼平優斗 3-1 1 鎌 田
(専大北上) (倉敷工業)
12 11 10 12 11 11
▽2回戦
佐藤遠太 2-1 3 大久保
(専大北上) (作新学院)
11 11 9 4 11 11



▽3回戦
齋藤太一 3-1 1 金 光
(専大北上) (岡山・関西)
11 11 6 6 11 11
兼平優斗 0-1 3 加 藤
(専大北上) (明徳義塾)
12 11 10 12 11 11
▽4回戦
齋藤太一 0-1 3 関
(専大北上) (開志学園)
5 11 11 8 11 11

8月6日(土)
【女子シングルス】
▽1回戦
高橋心愛 3-1 0 高 木
(専大北上) (徳島・城南)
11 11 5 11 11 9
▽2回戦
高橋心愛 0-1 3 鈴 木
(専大北上) (東京武蔵野)
4 11 11 6 11 11

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

5年ぶり6度目の全国大会出場

第67回全国高校選手権東北大会

優勝 専修大学北上高等学校軟式野球



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第67回全国高校選手権東東北大会

優勝 専修大学北上高等学校軟式野球

7/31(日) 岩手県 しんきん森山スタジアム
決勝 専大北上4-1 仙台商業

5年ぶり6度目の全国大会出場

7月30日(土)
▽1回戦
会津北嶺(福島県) 0000000
0000000
54412×25
専大北上(岩手県)
(5回コールド)
(念) 玉川、高橋、矢吹瑠
一 蛭田、倉持
(専) 村上大、高橋凱玲、齋藤将吾、照井彪天
▽本塁打 渡辺飛輝(専)
(商3年)(南中出身)
▽三塁打 佐藤 旭(専)
(自3年)
(江刺第一中出身)
(専) 岡本志武(専)
(商2年)(湯本中出身)
▽二塁打 高橋飛輝(専)
(商2年)(湯田中出身)
岩木瑞真(専)
(普2年)(水沢中出身)
武藤(念)

(評) 専大北上は初回に3番懸田朋輝選手(普2年)(水沢南中出身)の先制右前打を打て、5点を先行。2回に4点、3回は代打渡辺飛輝(商3年)(南中出身)の右中間ソロ本塁打などで4点を加えた。4回は打者15人の猛攻で7安打を集めて12点を奪った。

7月31日(日)
▽決勝
専大北上(岩手県) 0020100014
0000001001
0000001001
仙台商業(宮城県)
(専) 岡本志武、照井彪天
(仙) 三浦、遠藤
一 佐々木、熊谷

(評) 専大北上は3回1死二、三塁からの番岡本志武選手(商2年)(湯本中出身)



の内野ゴロが敵塁を誘う間に先制。さらに4番照井彪天選手(商2年)(湯田中出身)の適口ロで得点し、210と先行した。9回は押し出し四球で加点。5回に懸田朋輝選手の中前通時打で4点を奪い突き放した。

岡本志武投手は伸びのある直球を武器に被安打5、5等三振の力投。序盤を1点に抑え、5年ぶりの6度目の全国大会出場権を獲得した。

全国選手権は代表16校が出場し、8月24日(水)に兵庫県明石トーカド球場で開催。組み合わせ抽選会は8月13日(土)にオンラインで開かれ、対戦相手が決まる。



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長-高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

中学生対象令和4年度オープンスクール〔7/29(金)~7/31(日)の3日間〕約700名参加
専修大学北上高等学校の学びの改革~「勉強」から「学問」の学びへ=「探究」型の授業の導入を中学生と保護者にPR
分析力(データサイエンス)=「なぜ?」/仮説・構想する力=「もし~」
クリティカルシンキング=「本当に?」/創造力=「自分は~考える」 ディープラーニング(高次思考)
一方通行の学びから双方向型の学びへ アクティブラーニングの積極的導入
多様な学びの提供 ダイバーシティラーニング多様な学びの提供「偏差値輪切り」から「学び方の選択」へ「専北塾」



普通科

歓迎

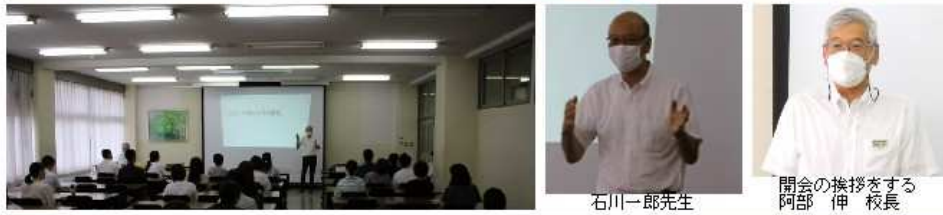
専修大学北上高等学校
オープンスクール



グローバル
ビジネス科



自動車科



石川一郎先生

開会の挨拶をする
阿部伸 校長

保護者対象説明会開催される
3日間多数の保護者
参加をいただき
成功裡に終わる
講師
本校理事
副校長
川村俊彦
石川一郎先生



川村俊彦 副校長

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

専修大学北上高等学校「未来の学びフォーラム2022」 「主体的な学びとは」7/29(金)13時30分から 本校クリエイションホールで開催される

北上市内および岩手県の高等学校・中学校の教育関係者約40人と教育や学びに興味のある高校生も参加して開催されました
主催: 専修大学北上高等学校/後援: 北上市教育委員会

「主体的とは」他に強制されたり、盲従したり、また、衝動的に行ったりしない、自分の意志、判断に基づいて行動する(ま)広辞苑より)



石川一郎先生

○基調講演:

「主体的な学びとは～学び方改革の先にあるもの～」

石川一郎さん (21世紀型教育機構理事・学校法人北上学園理事)

○実践発表:「主体性を育む学びの改革」

【中学校と高校をつなぐ自律的な学びの実践】

子どもが自律する学びのミライ地図の描き方

～自律型学習者、個別最適化、ICT、PBLなどの実践を通して～

山本崇雄さん

(横浜創英中学・高等学校校長補佐 新渡戸文化学園ラーニングディレクター)

【実践:主体性を高めるため仕組みづくり】

高校生におけるルールメイキングの実践と効果～大槌高校のチャレンジ～

菅野祐太さん(岩手県立大槌高等学校カリキュラム開発等専門家)

○クロージングトーク:

「今日の学びをこれからにつなげるために」

北上市教育長 平野憲さん

石川一郎さん

- ◆【新学習指導要領】
- ◆「実際の社会や社会の中で生きて働く」
- ◆(知識・技能)
- ◆「未知の状況にも対応できる」
- ◆(思考力・判断力・表現力)
- ◆「学んだことを人生や社会に生かそうとする」
- ◆(学びに向かう力、人間性)

- ◆【新学習指導要領のポイント】
- ◆「社会と学校の乖離を解消」
- ◆「社会生活における「未知の状況」に対応できる力」
- ◆「未知の状況に対応する力」
- (課題発見力)
- (課題解決力)
- チームでアイデアを活発に出す力
- 多様な価値観を受け入れる力
- 最後までやり抜く力

- ◆「これからの大学入試と就職試験に問われること」
- 自分が何を学んできた(できる)のか?
- 自分を何を学びたい(したい)のか?
- ◆「ダイバーシティイノベーション」
- ▽偏差値輪切りから学び方の選択へ
- ▽教室には多様な生徒が当たり前
- ▽前に存在する
- ▽コースを統合した「SENTANDA」の実施

- ◆「生徒や教員間で「対話」を繰り返して「興味・関心」の幅を広げることが大切
- ◆「なんでこんなことか?」でなく「なんでできるの?」でなく「なんでできないの?」が大切
- ◆「ノート」のとり方
- ▽開を立てる
- ▽わかったことを図解する
- ▽わかったことを要約する
- ▽問の答えを書く
- ◆学びの改革
- ×教える
- 教えない(支援する)
- 一人で学ぶ
- 協働して学ぶ
- 異なるアイデア
- 異なるアイデア
- 複数のこと
- 長時間
- 短時間
- ◆コアバリュー経営
- ◆お互いに心から認め合い、誰もが自分の居場所と感じられるような文化をつくる
- ◆「学校」が「社会」を創る
- ◆「社会」の要は「学校」に取り入れる
- ◆幸せになるには、自己決定できる「自律型学習者」を育成することが重要
- ◆(先生)「学び方を教える(生徒)自分で発見できる
- ◆自分でもわかる自律型がこれからは非常に大切です。

- ◆ルールとは 自由になるためにみんなが「創り出す」もの
- ◆ルールメイキングが身につく能力
- 課題発展力
- 当事者意識
- 設計力
- 実行力
- 論理的思考力
- チームワーク



山本崇雄先生



菅野祐太さん